

出前講座「小学生のためのおもしろ理科実験」報告

講師：谷本能文・樋高義昭

令和3年1月9日小谷地域センターで、小学生と保護者ら約20名を対象に、久しぶりに出前講座を開講した。テーマは、「スライムをつくってみようと冷たい冷たいマイナス19.6℃の世界」である。PVA水溶液にホウ砂水を加えスライムを作る実験では、当日の最低気温が -10°C だったせいか、スライムができるのに時間をとり、少しやきもきした。次に空気の話と演示実験をした。ドライアイス・酸素ガス・液体窒素を使って、火のついた蚊取り線香やローソクをこれらの入ったコップの中に入れてどうなるかなどである。火のついたローソクにコップをかぶせると火は消えていく。だから、万一家が火事になったら、できるだけ窓やドアを閉じて逃げると火がひろがらないよと、話したらとても納得していただいた。最後は液体窒素を使った実験で、花を液体窒素に浸けると花はどうなるか、膨らませた風船を液体窒素に浸けるとどうなるかを参加者全員ひとりひとりに実験してもらった。小学校では扱わない初体験のこともあり、みんな歓声を挙げながら実験していた。こどもたちには理科の面白さを十分に体験してもらえたと思う。希望があれば、今後とも鋭意出前したいと思っている。最後に、実験の際いろいろとお手伝いいただいた関係者の皆様に感謝します。また、本講座は、広島大学大学院理学研究科自己組織化学研究室・大阪大谷大学薬学部分子化学講座のご協力をいただいた。